

開講科目名 / Course	地域看護学概論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	2	
主担当教員 / Main Instructor	赤星 琴美	
担当教員名 / Instructor	赤星 琴美、佐藤 愛、小野 治子、木嶋 彩乃	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	地域包括ケアの時代に応じた地域看護の視点や方法論を学ぶ。	
到達目標	1. 地域看護の概念と機能を理解し、健康の保持増進と疾病予防における看護の役割について説明できる。 2. 地域における看護職の活動について説明できる。 3. 地域において看護職に求められる役割や機能について説明できる。	
DPとの対応	1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力	
授業計画	01. 地域看護学の概念と機能（地域の課題を知り、活躍するために） 02. 地域看護の歴史とこれからの展望、諸外国の地域看護と日本の現状 03. 公衆衛生の考え方（プライマリヘルスケアとヘルスプロモーション） 04. 公衆衛生の現状と展開（健康の社会的決定要因と健康格差への取り組み） 05. 地域看護活動の場による特性（保健所と保健センター等） 06. 地域看護活動の実際（1）看護の対象となる「地域で暮らす人々」とは 07. 地域看護活動の実際（2）人々の健康に影響を及ぼす生活の場としての「地域」とは 08. 地域看護活動の実際（3）人々が暮らす「地域の特性」をアセスメントする：地域の看護活動システム 09. 地域看護活動の実際（3）人々が暮らす「地域の特性」をアセスメントする：地域看護活動の展開過程 10. 地域看護活動の実際（3）人々が暮らす「地域の特性」をアセスメントする：地域診断とアセスメント	
その他の授業の工夫	地域看護と公衆衛生の実践者による講義が含まれる。	
時間外学修	講義後は示された資料や関連分野の文献・書籍等を読み、地域看護に関する用語やシステムの理解を深めること。	
評価方法と評価割合	筆記試験及び授業参加態度により総合的に評価する（評価配分：筆記試験90%、授業参加態度10%）。 なお、筆記試験の受験資格は、出席が7回以上とする。	
テキスト	公衆衛生看護学 第2版（中央法規）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	赤星琴美：保健所の保健師、小学校・中学校・高等学校の養護教諭 小野治子：看護協会職員、高等学校の養護教諭 佐藤愛：病院の保健師 木嶋彩乃：市町村保健センターの保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有
	内容	県保健福祉部の医師
実務経験をいかした教育内容	担当教員それぞれが、医療機関および行政機関で保健師として保健活動を実践してきた豊富な経験、養護教諭として学校での保健活動を実践してきた経験もとに学生を指導する。また、保健所長の経験のある医師が講義を行う。	